



第6回大学評価研究所「公開研究会」開催要領 テーマ「大学・大学職員は変わったか」

1. 目的と概要

「本協会の諸事業に資するよう、国内外の大学評価に関する調査研究を行うとともに、その成果を会員大学の利用に供すること」を目的に、本協会は大学評価研究所を設置しております。そしてその事業の一環として、定期的に公開研究会を開催し、関係者との研究成果の共有や意見交換の機会を設けています。

「教職協働」がいわれて久しく、大学運営における職員の活躍は長くテーマとなってきました。人事考課制度の導入や研修の導入、充実等によって、職員の能力・適性を活かした働き、能力開発といったこともあわせて注目点となり、また、近時の「教学マネジメント指針」においても、職員を含めた能力開発などは、マネジメント推進の基盤として強調されるなど、職員への期待は大きい状況にあります。本協会もかねてから「大学基準」で「教員と職員の協働」を「重要」と扱うなど、大学の継続的な発展・向上にとって職員の果たす役割、あるいはその資質向上は等閑ならないことととらえてきております。

そのような中、各大学の取り組みの現状はどのようなのでしょうか。とりわけ、職員の意識はどのように変化したのでしょうか。今回の大学評価研究所公開研究会はそのような点に関心を置いて実施いたします。本研究所の研究員による研究発表のほか、大学の事例紹介を行うつつ、一般の参加者とも一緒にこの問題を考えていきたいと思っております。

2. 開催日時・形態・プログラム

※敬称略

日時	2022（令和4）年7月7日（木）14：00～16：15
開催形態	オンライン開催（Zoom）
プログラム	
14：00～14：05	開会あいさつ
14：05～14：30	◆研究発表 両角亜希子（大学評価研究所一般研究員、東京大学教授）
14：30～14：55	◆事例紹介1 松尾太加志（北九州市立大学 学長） 実藤 康文（北九州市立大学 学術振興課）
14：55～15：20	◆事例紹介2 木俣 博史（学校法人東京理科大学 人事部）
15：20～15：25	～ 休 憩 ～
15：25～16：15	◆質疑応答・討論 司会：田代 守（大学評価研究所特任研究員、 大学基準協会事務局次長） 登壇：発表者4名 (16：15 閉会)